

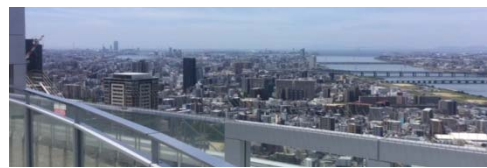
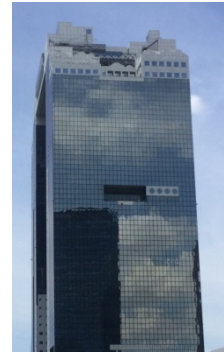
## 梅田スカイビル

梅田に行ったとき、梅雨の晴れ間なので見晴らしもよいと思い、久しぶりに梅田スカイビルに行った。地下鉄御堂筋線で淀川を渡るときなど、いつも目にする超高層ビルだ。

このビルは見る角度で違った顔を見せ、なかなか面白い。グランフロント大阪を通り、地下道を歩くと、ビルの下に着いた。高速のエレベーター、トンネルのような長いエスカレーターに乗り、空中庭園まで上がった。淀川を上から眺めたかった。

地上 170m の空中庭園から、大阪が一望できる。淀川の向こうは新大阪であり、自宅のある東三国もかすかに見える。淀川の下流のほうに目をやると、大阪湾岸部が広がる。大阪港や舞洲、夢洲もかすかに見える。ふと、ありえない「カジノ万博」のことが頭をかすめた。

かなり前に来たときは閑散としていた。今回は多くの観光客で賑わっていた。とりわけ外国人が目についた。朝日新聞 6 月 5 日朝刊に掲載された梅田スカイビルの記事を思い出した。切り抜きをしておいたので抜粋して紹介したい。



大阪のランドマーク「梅田スカイビル」(大阪市北区)の空中庭園の入場者が昨年 1 年間で 150 万人に達し、1993 年の開業以来、過去最高を記録した。外国人観光客が激増しており、最も少なかった 2005 年に比べて約 3 倍増となっている。

梅田スカイビルは、2 棟の 40 階建てビルの最上部が空中庭園でつながる構造。大阪湾や六甲、生駒の山並みなど地上 170 分から 360 度見渡せる眺望が人気を呼んでいる。

管理会社によると、開業翌年の 1994 年には入場者が 108 万人を記録したが、その後は数十万人台で推移。特に 2000 年から 11 年までは 40 万、50 万人台だった。ところが、ビルの東側で JR 大阪駅ビルが 11 年に開業、13 年にはグランフロント大阪が続き、それに伴い客足が伸びてきた。15 年に 121 万人と過去最高を記録してから、毎年記録を更新している。

17 年の入場者のうち外国人は約 113 万人にのぼり、全体の 75% を占めた。08 年、英国の出版社がスペインのサクラダファミリアなどとともに「世界の建築 TOP20」に選んだことが、海外に知れ渡るきっかけになったという。

(2018 年 6 月 23 日)